

STAMPING INK FOR TRACING PAPER AND STAMP PAD IMPREGNATED WITH SAID STAMPING INK FOR TRACING PAPER

Patent Number: JP56139571
Publication date: 1981-10-31
Inventor(s): FUKUTANI YUTAKA
Applicant(s): FUKUTANI KOGYOSHO:KK
Requested Patent: JP56139571
Application Number: JP19800043801 19800402
Priority Number(s):
IPC Classification: C09D11/00
EC Classification:
Equivalents: JP1177023C, JP58006753B

Abstract

PURPOSE: To provide the titled ink which is not transferred to other paper and does not blur the writing, containing a nonionic or an anionic surfactant, fat and oil composed mainly of a higher fatty acid glyceride an inorg. pigment and additionally a lower aliphatic alcohol.

CONSTITUTION: There is provided a stamping ink containing 0.5-10wt% nonionic or anionic surfactant (A), 50-90wt% vegetable or animal fat and oil composed mainly of a 10-18C prim. higher alcohol, a 15C or higher fatty acid glyceride or a 15C or higher fatty acid higher alcohol ester (B), 8-20wt% inorg. pigment (C) and additionally 3-6wt% 1-4C prim. or sec. aliphatic alcohol or 2-8wt% 3-9C aliphatic ketone (D). The writing is not blurred by water. The ink is not erased with an ink eraser, has excellent light resistance and chemical resistance, and is not transferred to other paper, etc. When the ink is stamped on a tracing paper, the ink can be erased with conventional erasers.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報 (A)

昭56—139571

⑫ Int. Cl.³
C 09 D 11/00
// B 41 K 1/54

識別記号
103

府内整理番号
7455-4 J
6951-2 C

⑬ 公開 昭和56年(1981)10月31日
発明の数 2
審査請求 有

(全 5 頁)

⑭ トレシングペーパー用スタンプインキおよび
同トレシングペーパー用スタンプインキを含
浸したスタンプ台

東京都台東区蔵前 4 丁目20番12
号

⑮ 出願人 株式会社福谷工業所
東京都台東区蔵前 4 丁目20番12
号

⑯ 特願 昭55—43801

⑰ 代理人 弁理士 杉山泰三

⑯ 出願 昭55(1980)4月2日

⑯ 発明者 福谷豊

明細書

発明の名称 トレシングペーパー用スタンプイ
ンキおよび同トレシングペーパー
用スタンプインキを含浸したスタ
ンプ台

一緒に含有しあつ付加的に炭素原子 1 個～ 4
個を有する第一又は第二脂肪族アルコール 3
%～ 6 %重量又は炭素原子 3 個～ 9 個を有
する脂肪族ケトン 2 %～ 8 %重量を含有す
ることを特徴とするトレシングペーパー用ス
タンプインキ。

特許請求の範囲

1. 非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活
性剤 0.5 %～ 10 % 重量を含有し炭素原
子 10 ～ 18 個を有する第一高級アルコール
又は炭素原子 15 個以上を有する高級脂肪酸
グリセリド又は炭素原子 15 個以上を有する
高級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分
とする植物性又は動物性油脂 50 %～ 90 %
重量および無機顔料 8 %～ 20 %重量を

2. 非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活
性剤 0.5 %～ 10 % 重量を含有し炭素原
子 10 ～ 18 個を有する第一高級アルコール又
は炭素原子 15 個以上を有する高級脂肪酸グ
リセリド又は炭素原子 15 個以上を有する高
級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分と
する植物性又は動物性油脂 50 %～ 90 %重
量および無機顔料 8 %～ 20 %重量を一

端に含有しつつ付加的に炭素原子 1 個～ 4 個を有する第一又は第二脂肪族アルコール 3 %～ 6 %重量又は炭素原子 3 個～ 9 個を有する脂肪族ケトン 2 %～ 8 %重量を含有したトレシングペーパー用スタンプインキを含浸したことを特徴とするスタンプ台。

発明の詳細な説明

本発明は白サブ、プラスチック消ゴム等の一般市販の消ゴムを以て簡単に消去することができるトレシングペーパー用スタンプインキおよび同トレシングペーパー用スタンプインキを含浸したスタンプ台に関するものである。

従来、この種のスタンプインキく水性・油

原子 15 個以上を有する高級脂肪酸グリセリド又は炭素原子 15 個以上を有する高級脂肪酸の高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂 50 %～ 90 %重量と非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活性剤 0.5 %～ 1.0 %重量および無機顔料 8 %～ 20 %重量を含有させることにより解決でき、植物性又は動物性油脂を入れることにより押印される紙面にうすい層をつくりその作用によつて消ゴムで消去することが出来る。また炭素原子 1 個～ 4 個を有する第一又は第二脂肪族アルコール 3 %～ 6 %重量又は炭素原子 3 個～ 9 個を有する脂肪族ケトン 2 %～ 8 %重量は溶状の粘性を低下させるために加えかつフェルトもしくは弾性体に

特開昭56-139571(2)
性>含浸のスタンプ台を用いてトレシングペーパーに押印した後に於て消去したい場合にはインキ消又は砂消しゴムを用いて消去していたが完全に消去せしめることが困難でありかつ消去する紙が薄くなり破れたりする等の弊があつた。

本発明は斯る欠陥を解消せんとするものであつて、押印したものは後に一般市販の消ゴム(白サブ、プラスチック消ゴム)等を以て簡単に消去できる安定なトレシングペーパー用スタンプインキおよびトレシングペーパー用スタンプインキを含浸したスタンプ台を提供するものである。

即ち、上記の如き欠陥は炭素原子 10 個～ 18 個を有する第一高級アルコール又は炭素

原子 15 個以上を有する高級脂肪酸グリセリド又は炭素原子 15 個以上を有する高級脂肪酸の高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂 50 %～ 90 %重量と非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活性剤 0.5 %～ 1.0 %重量および無機顔料 8 %～ 20 %重量を含有させることにより解決でき、植物性又は動物性油脂を入れることにより押印される紙面にうすい層をつくりその作用によつて消ゴムで消去することが出来る。また炭素原子 1 個～ 4 個を有する第一又は第二脂肪族アルコール 3 %～ 6 %重量又は炭素原子 3 個～ 9 個を有する脂肪族ケトン 2 %～ 8 %重量は溶状の粘性を低下させるために加えかつフェルトもしくは弾性体に

尚、本発明の実施例は

- ①、無機顔料 540g <無機顔料 30 %を含有する植物性油>
- ②、炭素原子 8～ 18 個第一高級アルコール 高級脂肪酸グリセリド 3,600g
- ③、非イオン界面活性剤 60g
- ④、炭素原子 3～ 9 個脂肪族ケトン 230g
- ⑤、1 個～ 4 個 第一又は第二脂肪族ケトン 200g
- ①～⑤までを混合攪拌せしめてトレシングペーパー用スタンプインキを完成し、また同インキをスタンプ台本体のフェルトに含浸せしめてスタンプ台を完成する。

手 統 補 正 書

特開昭56-139571(3)

訂 正 明 細 書

昭和55年5月6日

特許庁長官 川 原 雄 雄 殿

発明の名称 スタンプインキおよび同スタンプ
インキを含浸したスタンプ台

1. 事件の表示

昭和55年特許願第43801号

特許請求の範囲

2. 発明の名称 スタンプインキおよび同スタンプインキ

1. 非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活性剤0.5%～1.0%（重量%）を含有し炭素原子10～18個を有する第一高級アルコール又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸グリセリド又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂50%～90%（重量%）および無機顔料8%～20%（重量%）を一緒に含有しかつ付加的に炭素原子1個～4個を有する第一又は第二脂肪酸アル

3. 補正をする者

特許出願人

東京都台東区蔵前4丁目20番12号

株式会社 福谷工業所

代表取締役 福谷 豊

4. 代理人

東京都台東区蔵前4丁目9番10号

（6089）弁理士 杉山泰三

5. 補正の対象 明細書

6. 補正の内容 別紙の通り



コール3%～6%（重量%）又は炭素原子3個～9個を有する脂肪族ケトン2%～8%（重量%）を含有することを特徴とするスタンプインキ。

ルコール3%～6%（重量%）又は炭素原子3個～9個を有する脂肪族ケトン2%～8%（重量%）を含有したスタンプインキを含浸したことを特徴とするスタンプ台。

2. 非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活性剤0.5%～1.0%（重量%）を含有し炭素原子10～18個を有する第一高級アルコール又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸グリセリド又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂50%～90%（重量%）および無機顔料8%～20%（重量%）を一緒に含有しかつ付加的に炭素原子1個～4個を有する第一又は第二脂肪酸アル

発明の詳細な説明

本発明はスタンプインキおよびスタンプインキを含浸したスタンプ台に関するものであつて、非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活性剤0.5%～1.0%（重量%）を含有し炭素原子10～18個を有する第一高級アルコール又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂50%～90%（重量%）および無機顔料8%～20%（重量%）を一緒に含有しかつ付加的に炭素原子1個～4個を有する第一又は第二脂肪酸アル

特開昭56-139571(4)

つ付加的に炭素原子1個～4個を有する第一又は第二脂肪酸アルコール3%～6%（重量%）又は炭素原子3個～9個を有する脂肪族ケトン2%～8%（重量%）を含有することを要旨(I)とし、また非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活性剤0.5%～10%（重量%）を含有し炭素原子10～18個を有する第一高級アルコール又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸グリセリド又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂50%～90%（重量%）および無機顔料8%～20%（重量%）と一緒に含有しかつ付加的に炭素原子1個～4個を有する第一又は第二脂肪酸アルコール3%～6%（重量%）又は炭素原子3個～9個を有

する脂肪族ケトン2%～8%（重量%）を含有したスタンブインキを含表したことを要旨(II)とし、更に非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活性剤0.5%～10%（重量%）を含有し炭素原子10～18個を有する第一高級アルコール又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂50%～90%（重量%）および無機顔料又は油溶染料8%～20%（重量%）と一緒に含有しかつ付加的に炭素原子1個～4個を有する第一又は第二脂肪酸アルコール3%～6%（重量%）又は炭素原子3個～9個を有する脂肪族ケトン2%～8%（重量%）又は炭素原子3個以上を有するグリコ-

ルエーテル類3%～6%（重量%）を含有することを要旨(III)とし、また非イオン系界面活性剤又は陰イオン系界面活性剤0.5%～10%（重量%）を含有し炭素原子10～18個を有する第一高級アルコール又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸グリセリド又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂50%～90%（重量%）および無機顔料又は油溶染料8%～20%（重量%）と一緒に含有しかつ付加的に炭素原子1個～4個を有する第一又は第二脂肪酸アルコール3%～6%（重量%）又は炭素原子3個～9個を有する脂肪族ケトン2%～8%（重量%）又は炭素原子3個以上を有するグリコールエーテル類3%～6%（重量%

%）を含有したスタンブインキを含表したことを要旨(IV)とするものである。

従来、この種のスタンブインキ（水性）は捺印後に水に浸する染料がにじみ出で文字が不鮮明になつたり薄くなつたりすることがあり、又インキ消しで消滅される危険があり、更に耐光性耐薬品に劣ると共に捺印後の紙への墨透が遅いために他の紙に対して転写する危険性がある等の弊かあつた。

本発明の課題は斯る欠陥を解消することにあり、文字が水によりにじまなく、薄くならなく、インキ消しで消去しなく而かも耐光性耐薬性に優れていると共に他の紙等に対する転写の危険がないようにしたものである。

即ち、上記の如き欠陥は炭素原子10～18

個を有する第一高級アルコール又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸グリセリド又は炭素原子15個以上を有する高級脂肪酸の高級アルコールエステルを主成分とする植物性又は動物性油脂50%～90%（重量%）と非イオン系界面活性剤又は脂イオン系界面活性剤0.5%～10%（重量%）および無機顔料（油溶顔料を含む場合もある）8%～20%（重量%）を含有させることにより解決でき、また炭素原子1個～4個を有する第一又は第二脂肪族アルコール3%～6%（重量%）又は炭素原子3個～9個を有する脂肪族ケトン2%～8%（重量%）および炭素原子3個以上を有するグリコールエーテル類3%～6%（重量%）は溶状の粘性を低下させるために加えかつフェルトもしくは弊

特開昭56-139571(5)
性体に含浸させ易くするために使用しあつ含浸せしめた後蒸発されインキ濃度が増加されるのである。

尚、上記の要旨(A)(B)による実施例は

(1)、無機顔料 540g <無機顔料30%を含有する植物性油>

(2)、炭素原子8～18個 第一高級アルコール
高級脂肪酸グリセリド 3,600g

(3)、非イオン系界面活性剤 60g

(4)、炭素原子3～9個 脂肪族ケトン 230g

(5)、1個～4個 第一又は第二脂肪族ケトン 200g

(1)～(5)までを混合攪拌せしめてスタンプインキを完成し、また同インキをスタンプ台本体のフェルトに含浸せしめてスタンプ台を完成し、

また、上記の要旨(A)(B)による実施例は

(1)' 無機顔料 540g <無機顔料30%を含有する植物性>

(2)' 油溶顔料 20g

(3)' 炭素原子8～18個 第一高級アルコール 高級脂肪酸グリセリド 3,600g

(4)' 非イオン系界面活性剤 60g

(5)' 炭素原子3～9個 脂肪族ケトン 200g

(6)' 炭素原子1～4個 第一又は第二脂肪族ケトン 200g

(7)' 炭素原子3以上 グリコールエーテル類 100g

(1)'～(7)'までを混合攪拌せしめてスタンプインキを完成し、また同インキをスタンプ台本体のフェルトに含浸せしめてスタンプ台を完成する。

因に、上記の要旨(A)(B)による実施例に於けるスタンプインキはトレーシングペーパーに押印

特許出願人 株式会社福谷工業所

代理人 弁理士 杉山泰三

した場合には一般に市販されている普通の消ゴムを以て簡単に消去することができる。